

～「ここすき！」学びの記録～ 「入れる・並べる」から「分かち合う」へ

「ここすき！」に参加した初日から集中して遊び込んでいたOさん。
「内に向かって入れること」や「同じものを並べること」を丁寧におこなっていました。



1) 初日から集中力を発揮して、容器に入れていきます。



2) さまざまなものを丁寧に並べる力を発揮しています。

「ここすき！」に何度も参加するうちに、Oさんの遊びは
「内に向かって入れること」や「丁寧に並べること」から
「外に向かって分かち合う」ことへと発展していきました。



1) ピクニック遊びの時に、自分が持ってきた
大事な魚をみんなに分けてあげていました。



2) ごっこ遊びの中では、子どもたちは
頭1つぶん背伸びをした行動をとることができます。

「お弁当をもって散歩に行きましょう」という保育者の言葉で、
「お散歩」のイメージを共有した子どもたち。

いつもであれば、個々に集中して遊んでいる子どもたちが、
「お散歩ごっこ」の枠組みの中では、仲間とともに遊ぶ楽しさを実感し、
頭1つぶん背伸びした行動の力を発揮することができます。

そのごっこ遊びの中で、Oさんは、自分がバッグに入れてもってきた**大事な魚**を、
みずから**友だちに分けあたえる**ことができたのです。

いつもお母さまにやさしくされているOさん。
そうした行動を自分ができたことに誇らしさを感じられたのではないのでしょうか。
子どもは「やさしくされること」によって、「やさしくなれる」のですね。